

NPO法人

全日本語りネットワーク

〒185-0021 東京都国分寺市南町 2-18-3

国分寺マンションB-03A

(FAX)0237-67-7001 (HP) <http://japankatarinet.jp/>(E-mail) welcome@japankatarinet.jp (振替)00130-2-114808

2024. 11. 19 発行

ニュース

『それは 小さなつぶやきから始まった。』

中谷有香 (奈良県奈良市)

第16回全日本語りの祭りでは 多くの方が奈良にお越しくださりありがとうございました。私は、今回初めて参加させていただいたのですが、皆様のエネルギーな語り、熱いまなざし、お日様のよ様な笑顔に たただだ圧倒されてしまいました。そしてじわじわっとワクワクしてまいりました。

日々、仕事に子育てに忙しく、なかなか遠方での企画には足を運ばずにいました。かわりに紙芝居の活動をご一緒しているお仲間達から、各地で開催されるお祭りに参加したお土産話を聞かせてもらうのがいつも楽しみでした。そんなある日お仲間の一人がつぶやいたのです。「奈良でできないかな。語りの祭り。」ええ？ 奈良で？ 大阪とか京都じゃなくて奈良で？ 「やりましょ！やりましょ！奈良に来てもらいましょ！」私は深く考えずに大賛成。そんな何気ない会話から奈良招致が動き出しました。そうしていろいろな事のすり合わせをすすめ、奈良での開催が決定したのですが、いざ企画するとなると、日程、宿泊、プログラム… 整えることは山積みです。ですが理事の皆様の経験豊富なノウハウと、奈良の仲間のチームワークで少しずつ準備が進んでいきました。皆さん技持ち力持ちです。得意をそれぞれ分担し、どんな風におもてなしでしょうか、と知恵を出し合いました。私も得意な絵を描くことでお手伝い。奈良と言えば、鹿に大仏さん!とは言わせない、他にも魅力があるんです、そんなことを感じてもらえたらと、描いて作って準備をしました。

そしていよいよ迎えた当日。前の週に台風も通りすぎ、お天気もよくひと安心。おそろいのTシャツに着替えて全国から集う皆様をお出迎えます。「久しぶり!」「お元気でしたか!」と再会に喜ぶ笑顔があちこちに生まれます。そうなんだ、このお祭りは語り合うだけでなく再会の場になってるんだ、なんて素敵な集いなんだろうと思いました。

さあ！お祭りの始まりです。開会式では『奈良づくし』と題して奈良の昔話、手遊び歌、紙芝居、妖怪話を紹介しました。視覚的にも伝えたい、と思い妖怪を大きく描いたパネルも一緒に披露しました。皆様から好評の声をいただき、奈良の魅力を知っていただくことができました。そして分科会に美味しい夕食をいただきながらの交流会、夜語り、それから、らんらんショッピング(ネーミングがなんとも可愛い)。会場中に笑いとお熱い思いが溢れていました。私はこんなにじっくり語りを聞くのは初めてでした。特に方言で語られるお話はとても新鮮で楽しませていただきました。そして気づけば2日目の閉会式です。井上理事長が1日目の朝に、「始まってしまえばあつという間だよ」と山形のなまりで(この優しい方言が大好きです。)教えてくれましたが、本当に濃くて熱くて楽しい時間はあつという間でした。閉会式の最後には皆さんで「また会いましょう」と大合唱♪ 実は歌いながらあの奈良招致に動き出した頃のことを思い出し「奈良に皆さんが集うことが今リアルになってる! しかも大合唱してるし。そしてもう終わっちゃう!」と思いが込み上げてちょっと泣きそうになりました。このお祭りを機会に、私にもたくさんのお知り合いができました。なんて嬉しいことでしょう。これからきっとこの語りと紙芝居の繋がり輪が広がっていくのだと思うと、楽しみで仕方がありません。そしてとても刺激的です。皆様これからたくさんのお話を聞かせてください。どうぞよろしく願いいたします。



絵/なかたにゆか